



ニューヨーク  
補習授業校  
学校だより

日本語を話す仲間と日本語で学ぶ補習校

# 補習校協育



令和7年(2025年)5月2日

第5号

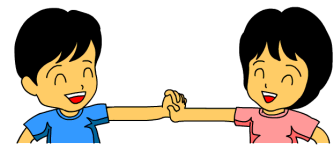
校長 小島 昇

## 進級・卒業の努力目標

ニューヨーク補習授業校の設置の趣旨及び教育方針は、学校規定で次のように定められています。「補習校は、ニューヨーク並びにその周辺に在留する日本人等の幼児・児童・生徒に対し、日本語による日本の教育制度に準じた教育を行い、当該幼児・児童・生徒が将来日本の初等・中等教育施設等の学年へ編入、又は進学するに際し、当該幼児・児童・生徒の円滑な適応を図ることを主たる目的とする。」

そこで学校では、この目的を達成するための教育活動を、学習指導要領に準じて実施しているところです。また、児童・生徒や保護者の皆様にこの目的を達成するために最低限必要なこととして次の「ガイドライン」を設定し、基準を下回る場合には改善を促す指導を実施し、それでも改善が見られない場合には進級検討会議の対象とするなどして対応してきました。

- 1 出席日数が、授業日数の3/4以上であること。  
\* 体験入学は、本校では、出席簿上では欠席扱いとする。
- 2 宿題・課題の提出率が80%以上であること。



もとより、補習校と現地校の学習や活動との両立は、特に学年が上がるにつれて身体的にも精神的にも厳しいものがあります。入学当初の意欲や目的意識を見失いがちになったり、不適応を起こしたりする児童・生徒も見られるという認識の中、児童・生徒自らが強い決意で学習に取り組めるよう保護者の皆様にもお願いしてきました。しかしながら、時代の変化とともに各家庭や当地における教育環境の状況も変わり、保護者の皆様の考え方も多様化してきている現実があり、一律に「ガイドライン」として継続していくことは時代の要請に合っていないと判断するに至りました。

そこで本年度より、基準を変えることなく「ガイドライン」を「努力目標」として扱うこととします。目指すべき達成の目安の内容は変わりませんので、3/4以上の出席、80%以上の宿題・課題の提出を今後も目指してほしいと考えています。その上で、個々の児童・生徒の状況や保護者の皆様のお考えを確認しつつ、この努力目標の運用を進めてまいります。達成していないことをもって、直ちに進級・卒業を認めないものではありませんが、安易に基準を緩やかにするものでもありません。

保護者の皆様には、お子さんが努力目標を達成できるように引き続き励ましをお願いいたします。また、例えば補習校以外の活動が忙しく努力目標の達成が難しい場合や、反対に単純な意欲低下等で家庭と学校の協力により解決を目指したい場合など、必要に応じ学級担任へのご相談をお待ちしております。

